

物件事前調査システム 公図表示操作の手順書 (A3書式)

1 公開されている公図ファイルの入手

物件事前調査システムでは「公開されている公図ファイル」をシステムに登録してから表示します。

「公開されている公図ファイル」は [G 空間情報センター\(https://front.geospatial.jp/moj-chizu-xml-readme/\)](https://front.geospatial.jp/moj-chizu-xml-readme/) からダウンロードしてください。

ダウンロードの手順については、[G 空間情報センターの\(https://front.geospatial.jp/moj-chizu-xml-download/\)](https://front.geospatial.jp/moj-chizu-xml-download/) を参照ください。

公開公図ファイルは市区町村単位でダウンロードできます。

2 公開されている公図ファイルの登録手順

前章1で入手した公開公図ファイル(ダウンロードした ZIP ファイルそのものとなります。解凍しないでください。)を登録します。

対象となる市区町村もしくは物件を表示します。「公図」ボタンをクリックすると、登録の確認メッセージが表示されます。

ファイル選択画面が表示されるので、前章1で入手した公開公図ファイルを指定して、「開く」ボタンをクリックします。

「登録が完了しました。」というメッセージが表示されると登録終了です。

(公開公図ファイルサイズが大きかったり、パソコンの性能が低い場合、時間がかかる場合があります。)

公開公図ファイルの内容

登録する公開公図 ZIP ファイルは、複数の公図 ZIP ファイルと一つの CSV ファイルから構成されています。

また、各公図ファイルには、一つ以上の図郭(公図の単位)を含みます。

公図を表示するときは、一つの公図 ZIP ファイルごとに表示します。表示するたびに公図 ZIP ファイルを解凍し、解凍された XML ファイルを読み込み表示しています。

そのため、公図ファイルが大きいと表示までに時間がかかる場合がありますのでご注意ください。



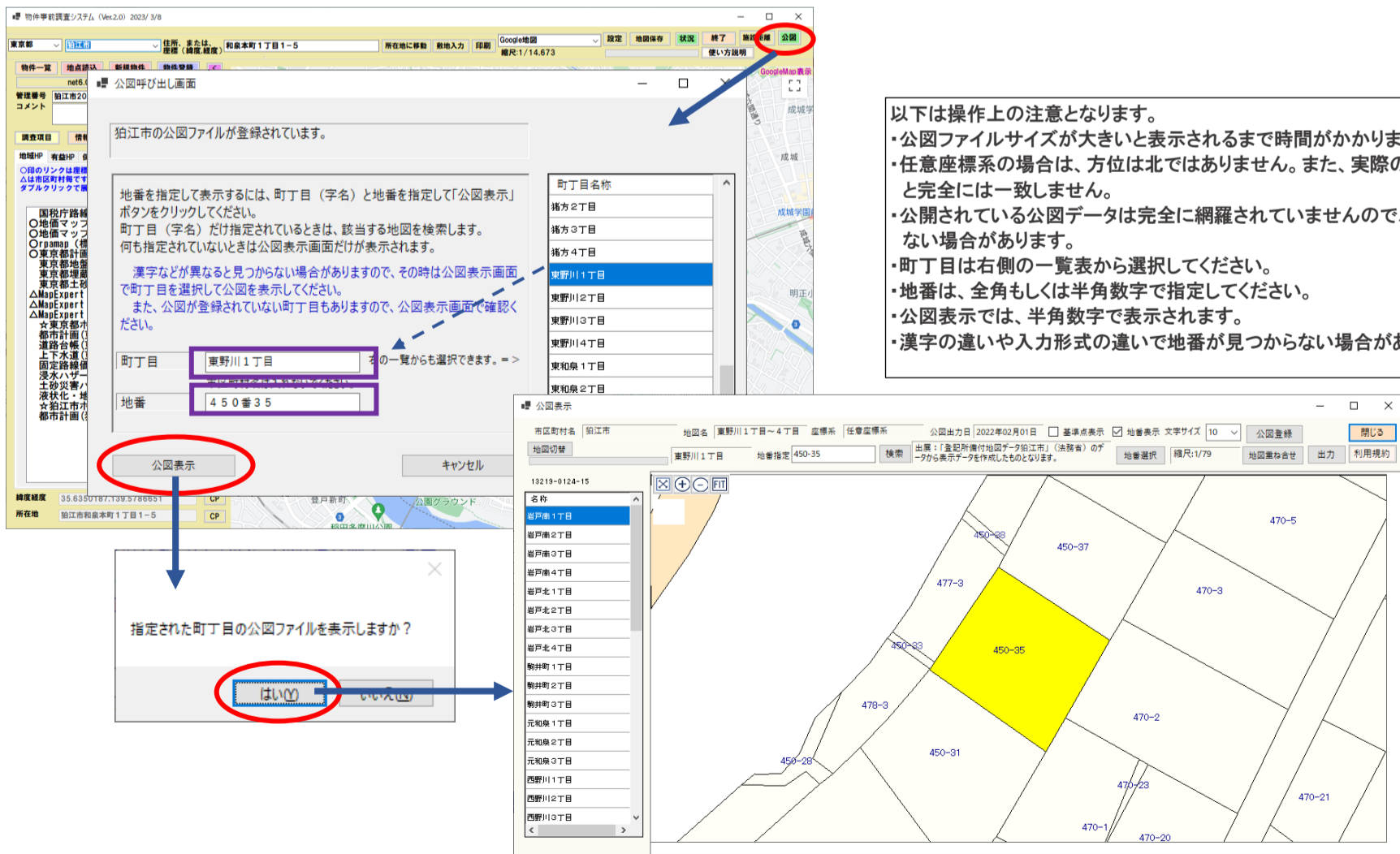
なお、公図表示の画面からは、複数の市区町村の公開公図ファイルを連続して登録することができます。

3 公図データの表示手順

(1)地番がわかる場合

地番がわかる場合は、「公図呼び出し画面」(下図参照)で町丁目と地番を入力して「公図表示」ボタンをクリックします。

(なお、公開されている公図データは完全に網羅されているのではなく、一部の地番の公図はありませんので、その場合は表示できません。)

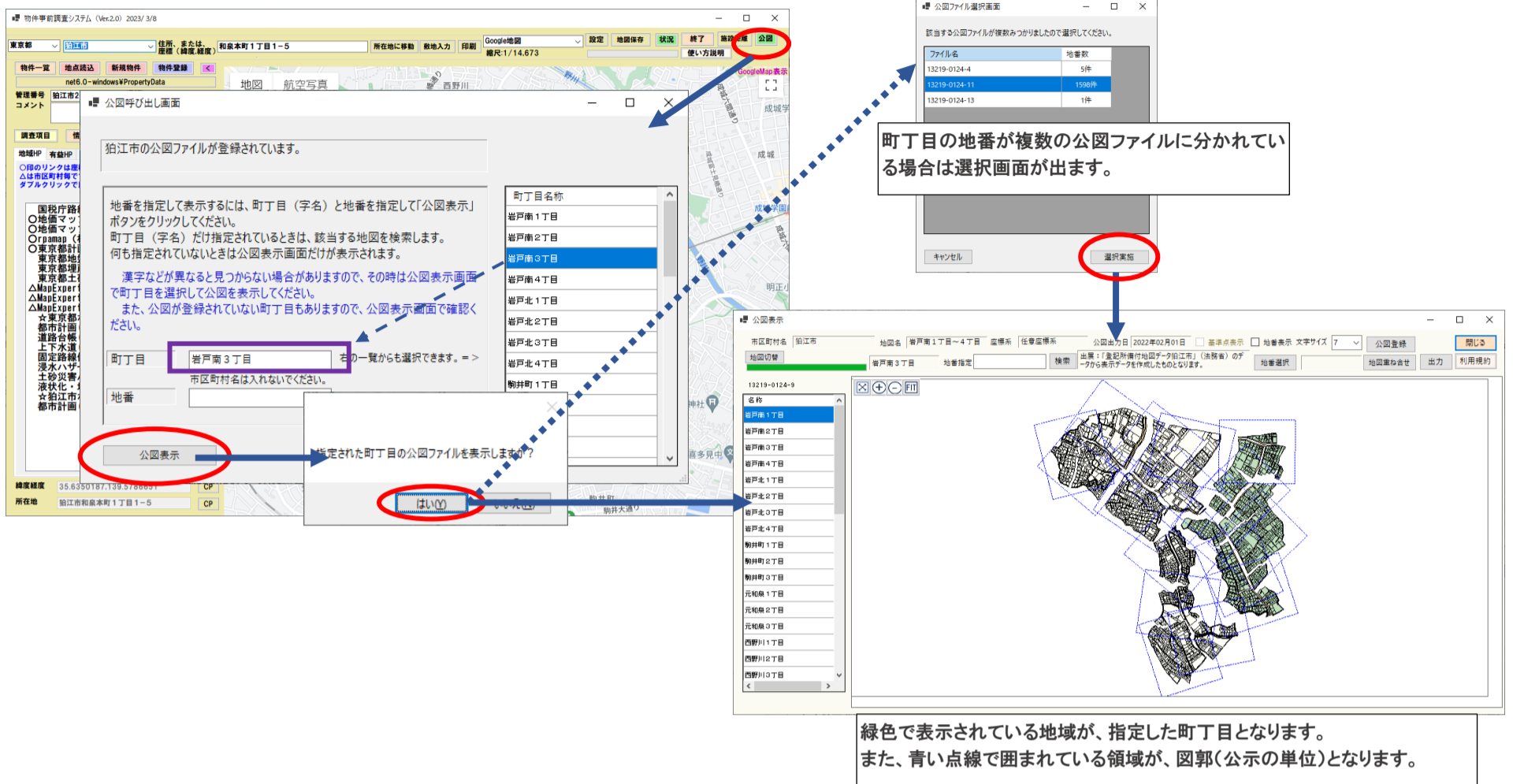


以下は操作上の注意となります。

- ・公図ファイルサイズが大きいと表示されるまで時間がかかります。
- ・任意座標系の場合は、方位は北ではありません。また、実際の土地形状と完全には一致しません。
- ・公開されている公図データは完全に網羅されていないので、表示できない場合があります。
- ・町丁目は右側の一覧表から選択してください。
- ・地番は、全角もしくは半角数字で指定してください。
- ・公図表示では、半角数字で表示されます。
- ・漢字の違いや入力形式の違いで地番が見つからない場合があります。

(2)地番がわからない場合

地番がわからない場合は町丁目を指定して、公図を表示します。なお、該当の町丁目の筆が複数の公図ファイルに分散している場合は、公図ファイル選択画面を表示して、選択された公図ファイルを表示します。



4 公図表示画面の操作

(1)公図表示画面の構成



(2) 公図表示画面の操作

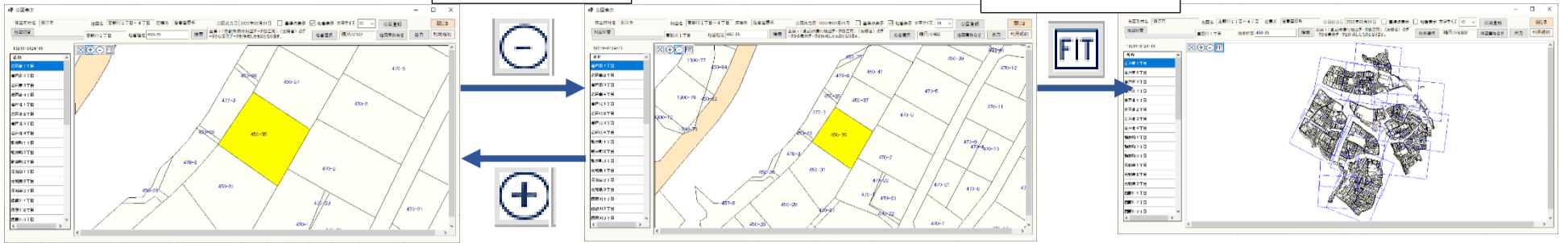
① 公図表示の拡大縮小移動

公図左上のボタンの操作



表示範囲を広げます。
地図を縮小します。

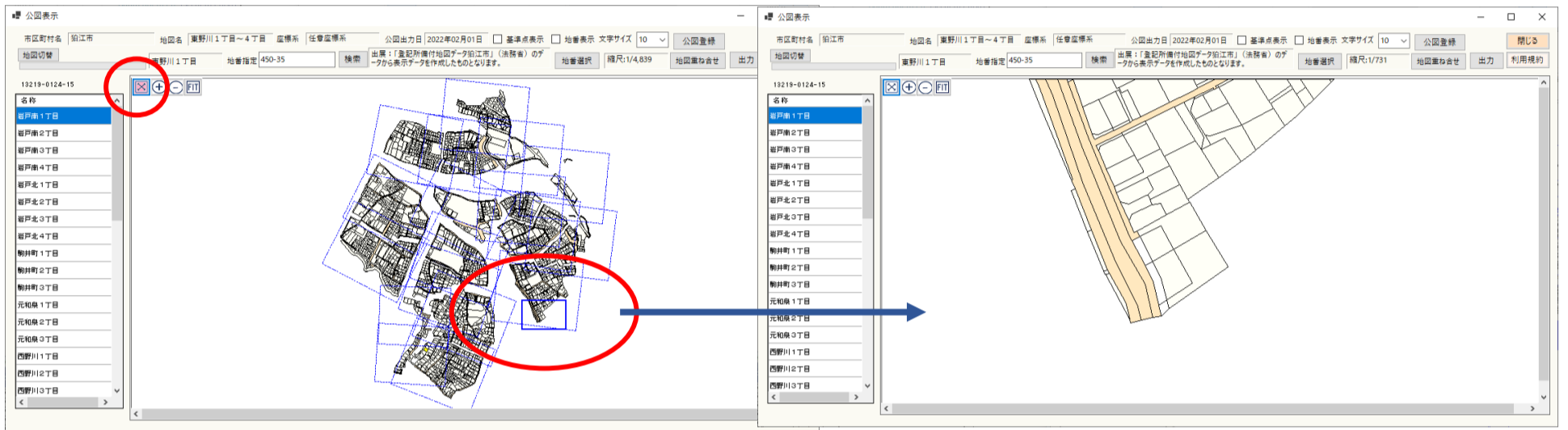
公図ファイルの公図全体を表示します。



表示範囲を狭くします。
地図を拡大します。

☒ ボタンの操作

マウスで矩形の範囲を指定して、その範囲を含む公図を表示します。

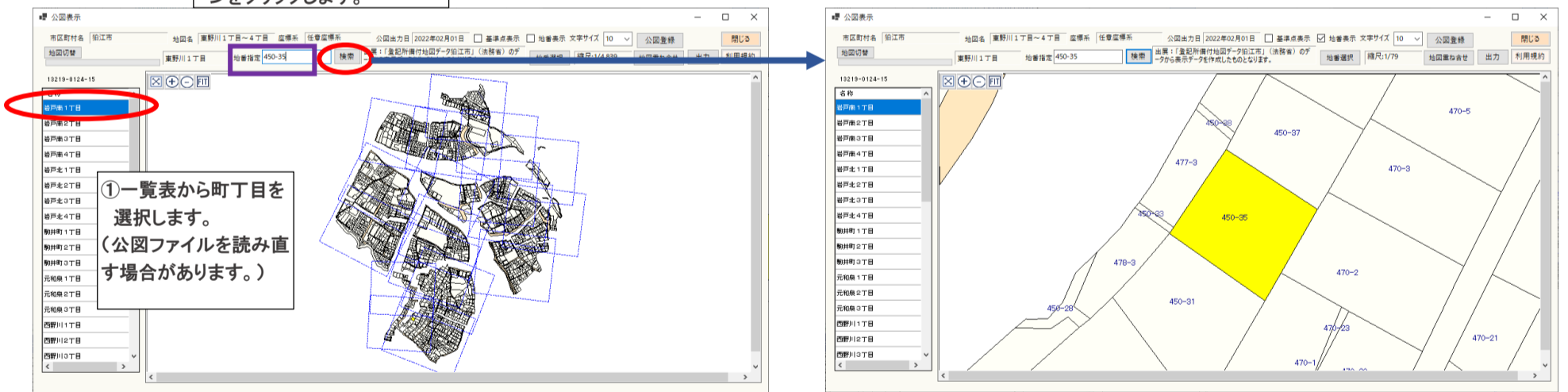


☒ ボタンをクリックすると、☒ のようにボタンの色が変わります。この時に、マウスで表示したい領域の頂点でマウス左ボタンを押して、押したままマウスを動かして矩形の領域を作り、表示したい範囲でマウスを放すことにより、指定された領域の公図を拡大表示します。

② 地番検索の操作

町丁目を一覧表から選択し、地番を入力して、「地番検索」ボタンをクリックします。

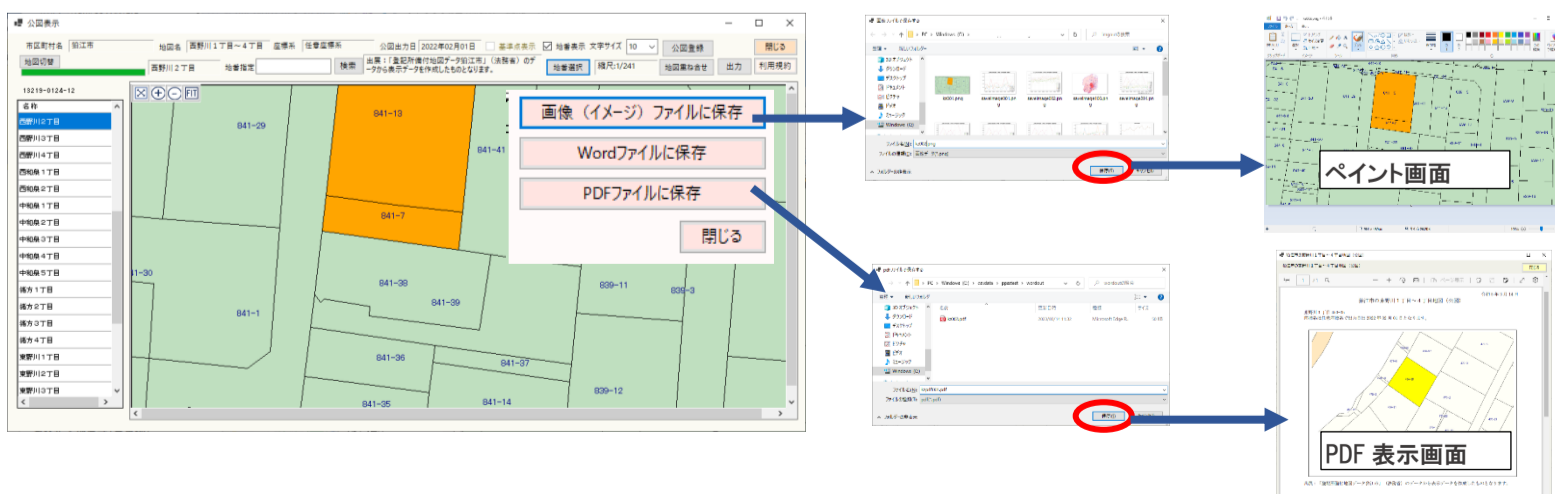
② 地番を入力して、「検索」ボタンをクリックします。



① 一覧表から町丁目を選択します。
(公図ファイルを読み直す場合があります。)

③ 公図出力

「出力」ボタンをクリックすると、画像ファイル、Word ファイル、PDF ファイル保存のメニューが表示されますので、保存したいファイル形式を選択し、ファイル名を指定して、保存します。保存後、画像ファイルはペイント画面、Word ファイルは Word、PDF ファイルは PDF 表示画面が自動的に表示されます。以下は画像ファイルと、PDF ファイルの例です。



5 地図上に物件の公図を重ね合わせる操作

(1) 物件位置の地図を表示

①住所を入力して「所在地に移動」ボタンで移動したり、②物件が登録されている場合は、物件一覧を表示して物件を選んで表示したり、③まだ、登録されていない物件であれば、住所と地番を入力して物件を登録して物件の位置を表示します。

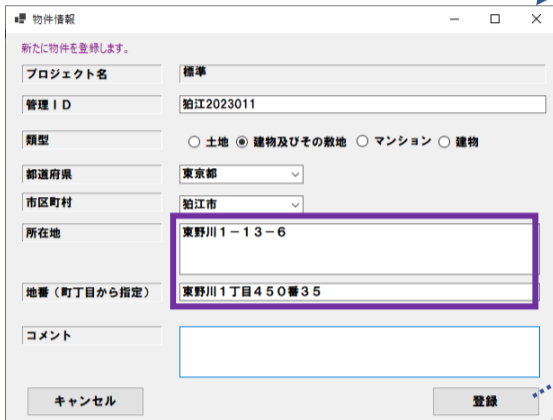
② 物件一覧を表示し、物件を選択して表示



① 住所を入力して「所在地に移動」ボタンで表示

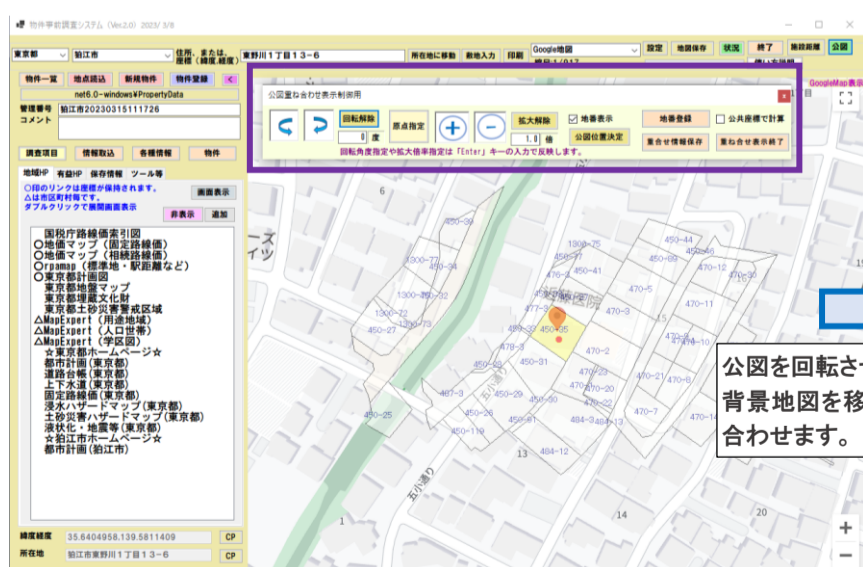
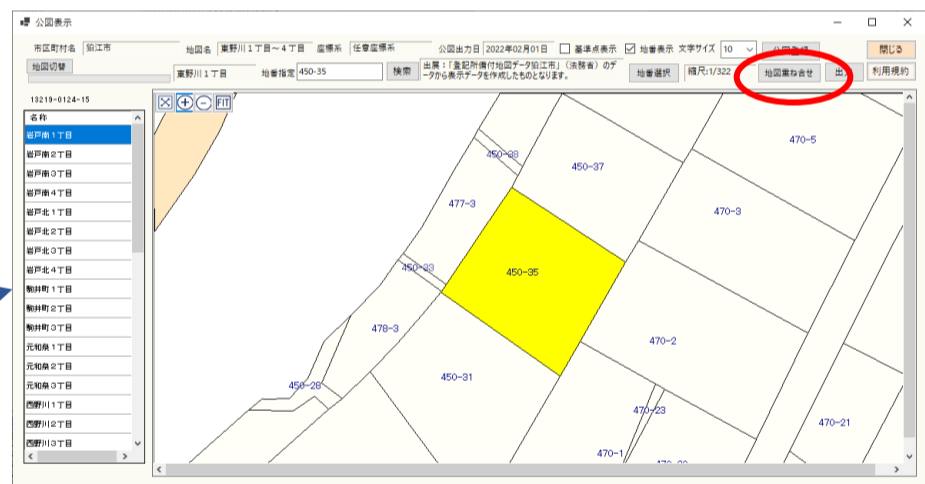
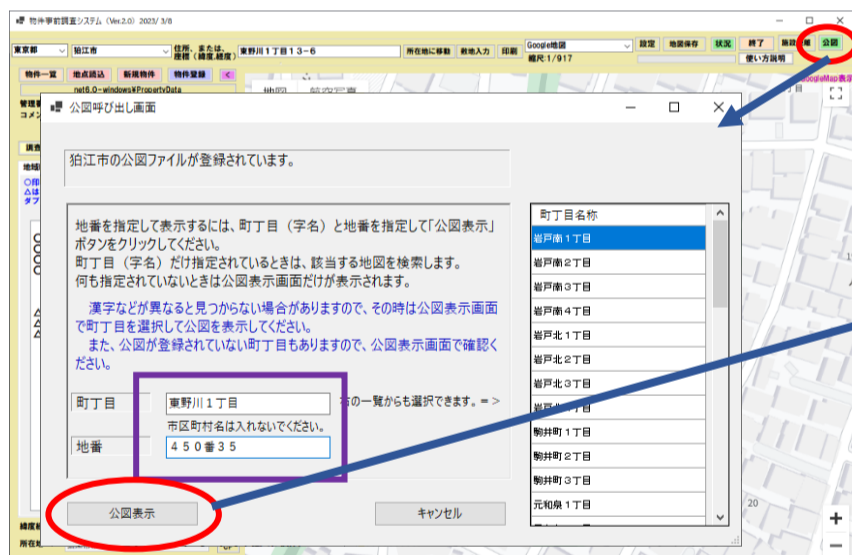


③ 「新規物件」ボタンから所在地と地番を入力して「登録ボタン」をクリック



(2) 物件付近の公図を表示して地図に重ね合わせます。

地番を指定して公図を表示します。地番がわからなかったら町丁目だけで表示して、物件の位置を確認します。



地図上に公図が表示され、「公図重ね合わせ制御用画面」が表示されます。

(3) 公図重ね合わせ表示制御用画面

公図の座標系は「任意座標」のものが多く、その場合、地図上に重ね合わせるには、公図の向きやスケールを地図に合わせる必要があります。また、重ね合わせ公図の筆を物件に保存しておくことにより、一度重ね合わせれば、次に表示するときは重ね合わせるための操作をしなくても自動的に重ね合わせて表示できるようになります。

「公図重ね合わせ表示制御用画面」はこうした重ね合わせるための操作や、物件に保存するための操作を行うものとなります。

以下が、各ボタンの説明となります。

公図左回転
公図を左に回転させます。ボタン上でマウスを押下し続けることで、公図を回転させていきます。マウスを放すと、回転を止めます。

原点指定
公図の回転、拡大の原点を変更します。最初は地図の中心です。橙色の丸で表示されます。

公図拡大
公図を拡大します。ボタン上でマウスを押下し続けることで、公図を拡大していきます。マウスを放すと、拡大を止めます。

地番表示
チェックすると公図上に地番を表示します。

地番登録
このボタンをクリックしてから、物件の地番の領域をクリックすると物件に地番を登録できます。複数の筆を登録できます。

回転解除
公図の回転角度を0にします。

拡大解除
公図の拡大率を1にします。

回転角度は-45~45まで指定できます。

公図重ね合わせ表示制御用

回転解除 **原点指定** **拡大解除** **地番表示** **地番登録** **公共座標で計算**

公図位置決定 **重ね合わせ情報保存** **重ね合わせ表示終了**

回転角度指定や拡大倍率指定は「Enter」キーの入力で反映します。

重ね合わせ表示終了
地図上への公図の重ね合わせ描画を終了します。公図表示画面は、そのまま利用できます。

公図右回転
公図を右に回転させます。ボタン上でマウスを押下し続けることで、公図を回転させていきます。マウスを放すと、回転を止めます。

公図回転角度
公図の回転角度が表示されます。直接入力してリターンキーで反映することもできます。左回転は負の数、右回転は正の数であらわれます。

公図縮小
公図を縮小します。ボタン上でマウスを押下し続けることで、公図を縮小していきます。マウスを放すと、縮小を止めます。

公図拡大率
公図の拡大率が表示されます。直接入力してリターンキーで反映することもできます。1.0が等倍を示します。

公図位置決定
現在の重ね合わせの状態を、公図の位置として決定します。決定された後は、地図の移動に伴って公図位置も移動するようになります。

重ね合わせ情報保存
このボタンをクリックすると、現在の重ね合わせ情報を物件の情報として保存します。

(4) 原点指定の手順

ここでの「原点」とは、公図の回転や拡大縮小の計算の原点を示します。

新しい原点上でマウスをクリックします。

マウスで指定した位置を回転及び拡大の原点にします。途中でやめる時はESCキーを推してください。実行しますか？

はい(Y) **いい(N)**

原点の位置がわかります。

(5) 地番登録の手順

地番登録終了ボタンで地番登録を終了します。

マウスで指定した位置の地番を対象地番として選択します。「地番登録終了」ボタンをクリックすると終了します。実行しますか？

はい(Y) **いい(N)**

登録する筆領域内でマウスの左ボタンをクリックします。

筆が登録されると橙色で表示されます。複数ある場合は順番にマウスでクリックしていきます。すでに登録されている領域でマウスをクリックすると登録が解除されます。

(6)登録した地番の表示

物件を地図に表示しているときに「公図」ボタンをクリックし、「公図呼び出し画面」を表示して、「物件の登録公図データ表示」ボタンをクリックします。地番(筆)の形状が紫色の境界線で表示されます。



また、背景地図を航空写真に切り替えると、航空写真上に筆領域を表示します。

